



公共施設の最適化に向けて 取り組んでいます！



市では、公共施設などの現状と課題、財政状況や将来の人口減少などの社会的状況を踏まえた上で、長期的な視点をもって、市民の財産である公共施設などを計画的に管理しています。財政負担の軽減や平準化、市民サービスの拡充、公共施設の最適な配置を目指した施設管理に取り組んでいます。

問い合わせ 資産経営課（内線422）

今回は、令和3年3月31日をもって廃止した「戸田市立少年自然の家」の取り組みを紹介します。

廃止

戸田市立少年自然の家



昭和49年に建設され、これまで市内小・中学校の林間学校やスキー教室などの施設として利用されてきました。

約45年間の利用により 生まれた課題

- 児童・生徒の増加により、施設収容人数が不足
- 経年劣化による施設の老朽化や、設備更新費などの財政負担 など

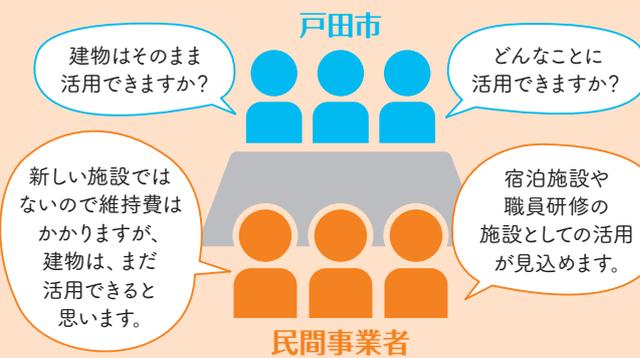
長年の利用により課題が発生し、施設の今後の在り方について検討した結果、国や県の施設、民間宿泊施設を代替利用することとし、令和3年3月31日をもって施設の廃止を決定しました。

検討

廃止後の 活用について 市場性を調査

施設廃止後の有効な取り扱い方を検討する中で、市場ニーズや活用方法について、民間事業者との対話を行いました。

対話（イメージ）



売却



土地 + 建物

民間事業者との対話の結果、土地だけでなく建物の活用について、市場ニーズがあることが判明し、建物を解体せず売却することに決定しました。

この取り組みにより 得られた効果

廃止	売却
運営費、維持管理費の削減	● 土地、建物の売却による収入の確保
	● 建物解体費の削減

市では、今後も公共施設の最適なマネジメントに取り組んでまいります！